

「保健医療科学」 第52巻 第4号 予告

地域における自殺の実態と予防対策（仮題）

わが国における自殺の現状と課題（仮題）	川上憲人
自殺に関する研究の現状：国内（仮題）	石井敏弘
自殺に関する研究の現状：海外（仮題）	織田進
わが国の二次医療圏における自殺の集積性（仮題）	藤田利治
勤労者のメンタルヘルスと自殺念慮（仮題）	山田和子
地方自治体における自殺予防対策の現状（仮題）	島田美喜
秋田県における高齢者の自殺予防対策（仮題）	本橋豊
地域保健と職域保健の連携（仮題）	飯島美世子
中高生への自殺予防対策の現状（仮題）	高橋祥友
自殺意図者への電話相談（仮題）	西原由記子

編 集 後 記

本号の特集である「個人情報と疫学」は調査対象の権利を確保するためのものである。これまでややもすれば、自分の個人情報が使われているにも拘わらず調査対象に成っていることさえも知ることができなかった「不愉快さ」を解消する方策が「疫学研究に関する倫理指針」に苦勞して書かれているといえよう。疫学研究に自分の個人情報が使われる事を了解するのは、科学的根拠を研究者が導きだすのに役立つためだという気持ちがあるからにほかならない。研究者は研究方法等の計画を厳密に考え、せっかくいただいた情報を無駄にすることの無いようにさらに一層の努力を求められている。

（土井徹）